

シンポジウム「大学と学生」(第3回)

大学における経験学習

— 学生の経験をどのように学習に活かすか —

1. 趣旨・題目

この「学生シンポジウム」は、21世紀の高等教育における学生の在り方や大学と学生の関係等について検討することを目的として平成26年より開催しています。今年度は、「大学における経験学習」を主題として取り上げます。インターンシップ、ボランティア、地域貢献などのサービスラーニングといった経験学習は、近年学生の学生の主体性を促し、学びを高めるものとして多くの大学が取り組んでいます。これについて実際に活動を行っている学生を招いて現状や課題を報告してもらい、研究を行っている研究者を交えて今後の方向性を議論し、関連する知見を深めつつ提言等を行うこととしております。本主題に関心のある学生を始めとする方々の参加をお待ちします。

2. 日時・会場

開催日：平成28年9月23日(金)

会場：広島大学学士会館レセプションホール(東広島キャンパス、交通は以下参照)

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/index.html#higashihiroshima>

3. 対象・定員

対象：本主題に関心のある学生、教職員、その他の者

定員：100人

4. 報告者

本テーマに関連する活動について経験のある学生(学部学生に限ります)を募集します。ご関心のある方は、以下の要領に従ってご応募下さい。外部者の意見を心得て応募書類審査して報告者を選出し、シンポジウムでの報告を依頼します。報告者には、広島大学の規定に基づいて旅費(1泊2日)を支給します。

・ 応募書類：報告の表題と内容をA4で1頁程度にまとめる(形式を問わない)

・ **締切：9月9日(金)**

・ 提出方法：メール添付にて大場准教授 oba@hiroshima-u.ac.jp 宛に送付

・ 審査の観点・基準

応募書類に際しては以下の点にご留意下さい。全ての点を網羅する必用はなく、また、独自の視点を盛り込んでも差し支えありません。

○ 経験自体よりも、それによって得られた学びに焦点を当てていること。

○ 大学の取組について批判的視点を有していること(実施体制が整備されているか、評価

- の在り方や単位の付与についての適否など)。
。経験学習の在り方についての改善案を含むこと。

5. プログラム

- 1) 13:00-13:10 開会行事
- 2) 13:10-13:30 趣旨説明
- 3) 13:30-14:45 講演 (60分+15分質疑応答=75分)
木村充 (東京大学大学総合教育研究センター)
- 4) 14:45-14:55 休憩
- 5) 14:55-15:55 学生による事例報告 (15分×4あるいは20分×3)
 1. 報告1
 2. 報告2
 3. 報告3
 4. (報告4)
- 6) 15:55-16:20 コメント
- 7) 16:20-17:20 討論
- 8) 17:20 閉会
- 9) 18:00-20:00 情報交換会

6. 申し込み等

【締切】平成28年9月20日(火)

【参加費】無料 (情報交換会費は教職員2,000円, 学生1,000円程度を予定しています)

【連絡先】広島大学高等教育研究開発センター事務係

Tel.: 082-424-6240

Email: k-kokyo@office.hiroshima-u.ac.jp

※内容についての照会は oba@hiroshima-u.ac.jp まで